

図-8 降水量の状況

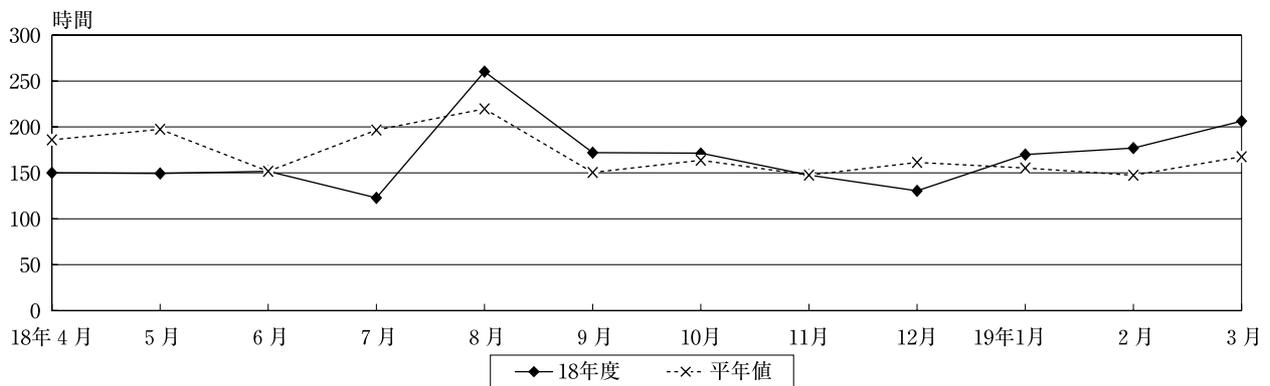


図-9 日照時間の状況

表-9 高濃度オキシダント発生時の風向頻度 (時間数) (平成18年度)

風向局名	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	主風向	
鳴門	21	4	5	3	6	6	15	27	3	1					3	29	SE~SSE, NNW~N	
松茂	9	12	1	1	5	30	10	3						3	5	7	NNE, ESE	
藍住	11	15	3	13	19	27	16					1		3	6	14	NNW~NNE, ENE~SE	
北島	6	3	1	8	6	29	18	8	1			1			9	16	ESE~SE, NNW	
川内	12	7	1	2	10	21	12	3				1			2	15	ESE~SE, NNW~N	
徳島	4	7	11	9	16	13	38	8	1	1				3	5	8	E~SE	
小松島	5	3	7	20	13	7	6	12	2	1					4	4	ENE~E	
那賀川	10	14	5	10	12	9	7	15	22	5				2	2	9	NNE, SSE~S	
中島	14	8	3		11	14	7	10	10	8					1	5	N, E~ESE	
羽ノ浦	15	4	8	15	12	10	8	4	20	5	1	1	1	3	1	5	N, ENE~E,S	
阿南																		
大湊		3	5	12	10	42	20	11	12	20	12	15	3	1	1		ESE~SE, S~WSW	
山口	7	26	8	7	15	6	3	5	19	21	6	2		1	2	1	NNE, E, S~SSW	
椿	2	1	3	10	36	16	3	5	21	16	13	7	8	6		1	E~ESE, S~SW	
鶯敷	3	7	3	3	9	12	1			1	2	5	4	2	1	3	ESE	
由岐	3	5	2	1	2	6	6	5	11	17	36	6			1	5	SSW~SW	
脇町	2	9	6	32	55	6							13	2			ENE~E	
池田	26	10	6	1	9	5	3		2	2	1	4	3	9	13	19	NNW~N	
計	150	138	78	147	246	259	173	116	124	98	71	43	32	35	56	141		
(%)	7.9	7.2	4.1	7.7	12.9	13.6	9.1	6.1	6.5	5.1	3.7	2.3	1.7	1.8	2.9	7.4		

表-10 高濃度オキシダント発生時の風速頻度(時間数)(平成18年度)

局名	風速	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0
	~	0.9	1.9	2.9	3.9	4.9	5.9	6.0
	m/s	m/s	m/s	m/s	m/s	m/s	m/s	m/s
鳴門	以上	10	28	38	34	6	3	3
松茂		5	26	34	15	4	2	
藍住		5	40	37	25	17	4	
北島		4	28	45	21	6	1	1
川内		2	15	21	27	11	3	7
徳島		3	15	48	34	14	4	5
小松島		4	19	41	11	4	5	
那賀川		3	26	38	26	20	4	5
中島		3	21	20	27	7	6	7
羽ノ浦		3	24	25	30	16	8	7
阿南								
大湊		12	66	55	24	8	2	
山口		6	31	43	25	15	5	4
椿		8	44	53	35	5	3	
鷺敷		15	27	12	2			
由岐		7	53	35	9		1	1
脇町		3	18	32	39	26	6	1
池田		29	69	15				
計		122	550	592	384	159	57	41
(%)		6.4	28.9	31.1	20.2	8.3	3.0	2.2

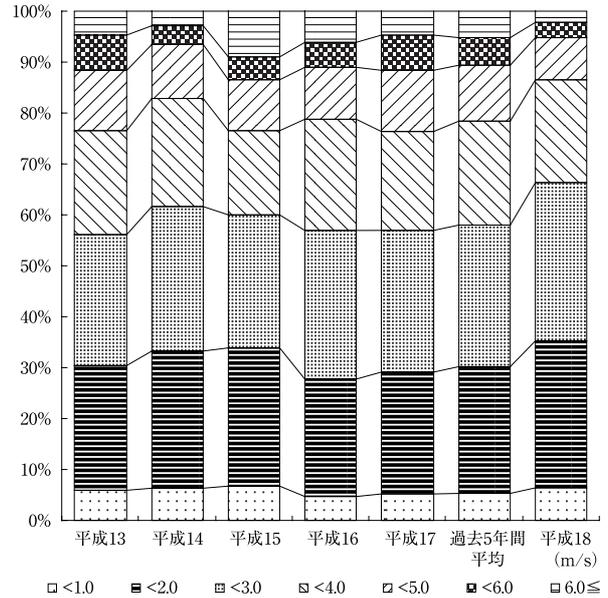


図-10 高濃度オキシダントと風速別出現頻度

表-11 全局のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成13年度		0.059	0.059	0.053	0.047	0.054	0.050	0.057	0.041	0.039	0.042	0.044	0.058	0.050
平成14年度		0.064	0.063	0.064	0.037	0.041	0.055	0.055	0.041	0.035	0.040	0.043	0.051	0.049
平成15年度		0.058	0.059	0.056	0.044	0.045	0.044	0.050	0.038	0.043	0.046	0.052	0.058	0.049
平成16年度		0.075	0.069	0.058	0.062	0.050	0.049	0.048	0.048	0.036	0.039	0.042	0.051	0.052
平成17年度		0.063	0.075	0.067	0.058	0.050	0.048	0.048	0.045	0.039	0.039	0.039	0.048	0.052
過去5年間平均		0.064	0.065	0.060	0.050	0.048	0.049	0.052	0.043	0.038	0.041	0.044	0.053	0.050
平成18年度		0.053	0.065	0.070	0.042	0.062	0.057	0.054	0.043	0.035	0.040	0.047	0.054	0.052

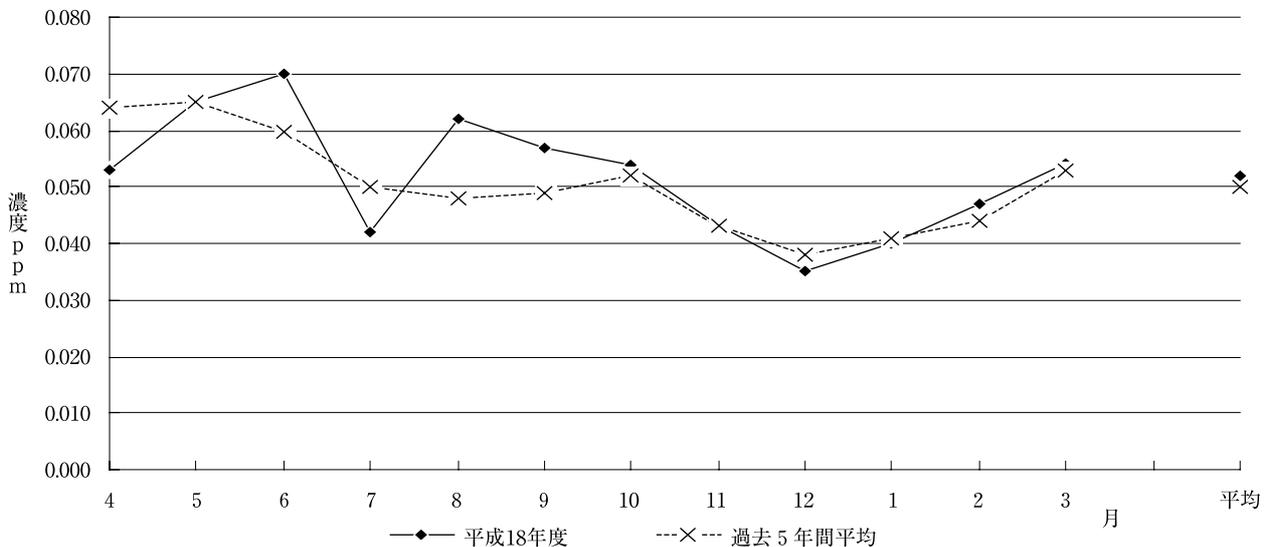


図-11 全局のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

表-12 北部のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成13年度	0.059	0.058	0.051	0.044	0.052	0.050	0.057	0.040	0.038	0.041	0.043	0.058	0.049
平成14年度	0.061	0.062	0.063	0.038	0.041	0.055	0.054	0.039	0.033	0.038	0.042	0.050	0.048
平成15年度	0.055	0.057	0.055	0.042	0.046	0.043	0.049	0.037	0.042	0.046	0.049	0.057	0.048
平成16年度	0.073	0.068	0.057	0.062	0.051	0.050	0.048	0.046	0.034	0.038	0.041	0.051	0.052
平成17年度	0.060	0.074	0.067	0.060	0.049	0.049	0.049	0.046	0.038	0.040	0.040	0.050	0.052
過去5年間平均	0.062	0.064	0.059	0.049	0.048	0.049	0.051	0.042	0.037	0.041	0.043	0.053	0.050
平成18年度	0.054	0.062	0.070	0.041	0.063	0.057	0.054	0.042	0.034	0.040	0.047	0.055	0.052

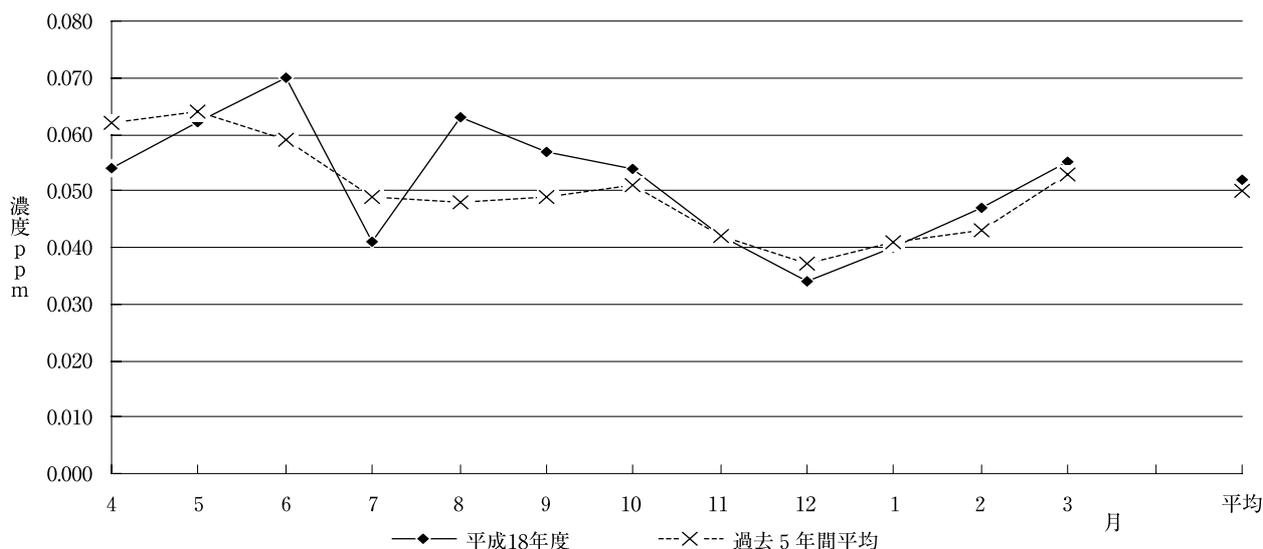


図-12 北部オキシダント昼間の日最高値の月平均値

以降では同様な値で推移している。月別では、全局とほぼ同じ傾向を示した。また過去5年間の平均値との比較においても全局とほぼ同じ傾向を示した。

南部地域の昼間の日最高値の年平均値は、表-13、図-13に示すとおり、平成18年度は0.053ppmで、過去5年間の平均値より高かった、また地域別においても最高値であった。月別では北部地域とほぼ同じ傾向を示した。また過去5年間の平均値との比較においても北部地域とほぼ同じ傾向を示した。

西部地域の昼間の日最高値の年平均値は、表-14、

図-14に示すとおり、平成18年度は0.052ppmで、過去5年平均値とほぼ同じである。月別では北部、南部と同様に6月が最も高く0.072ppmで、それ以降低下し12月が0.031ppmで底となり、2月より上昇している。

以上より平成18年度は日最高値の月平均値は、西部地域が北部、南部に比べて6月に最も高い0.072ppmを記録し、8月は0.068ppmであり、他地域より僅かであるが高い。他の期間については、北部、南部、西部地域とも月別変化はほぼ同様な傾向を示している。

表-13 南部のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成13年度	0.064	0.066	0.056	0.046	0.053	0.058	0.062	0.046	0.045	0.046	0.047	0.063	0.054
平成14年度	0.067	0.062	0.062	0.033	0.039	0.054	0.057	0.042	0.037	0.041	0.045	0.053	0.049
平成15年度	0.060	0.059	0.055	0.043	0.041	0.042	0.051	0.040	0.044	0.046	0.053	0.059	0.049
平成16年度	0.077	0.071	0.057	0.061	0.049	0.049	0.050	0.050	0.038	0.040	0.043	0.051	0.053
平成17年度	0.067	0.076	0.066	0.056	0.050	0.046	0.047	0.045	0.040	0.038	0.038	0.046	0.051
過去5年間平均	0.067	0.067	0.059	0.048	0.046	0.050	0.053	0.045	0.041	0.042	0.045	0.054	0.051
平成18年度	0.052	0.067	0.070	0.043	0.060	0.058	0.055	0.045	0.038	0.041	0.047	0.054	0.053

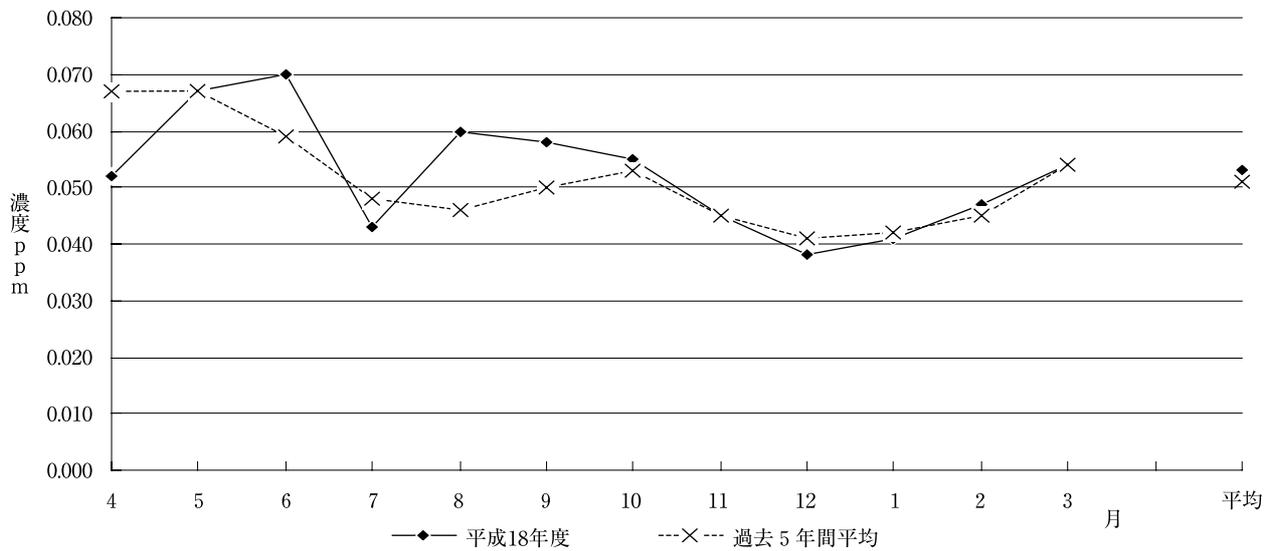


図-13 南部のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

表-14 西部のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

単位：ppm

年度等 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
平成13年度	0.063	0.067	0.068	0.069	0.067	0.056	0.057	0.044	0.042	0.046	0.047	0.062	0.057
平成14年度	0.061	0.065	0.074	0.053	0.049	0.059	0.054	0.039	0.034	0.041	0.043	0.049	0.052
平成15年度	0.059	0.068	0.060	0.050	0.056	0.056	0.052	0.035	0.043	0.046	0.053	0.055	0.053
平成16年度	0.073	0.067	0.062	0.066	0.052	0.044	0.045	0.044	0.034	0.038	0.041	0.049	0.051
平成17年度	0.058	0.077	0.074	0.064	0.054	0.050	0.046	0.042	0.039	0.038	0.040	0.051	0.053
過去5年間平均	0.063	0.069	0.068	0.060	0.056	0.053	0.051	0.041	0.038	0.042	0.045	0.053	0.053
平成18年度	0.054	0.062	0.072	0.045	0.068	0.056	0.054	0.039	0.031	0.039	0.046	0.056	0.052

* 西部の局は脇町局、池田局で、池田局は平成14年度から測定している。

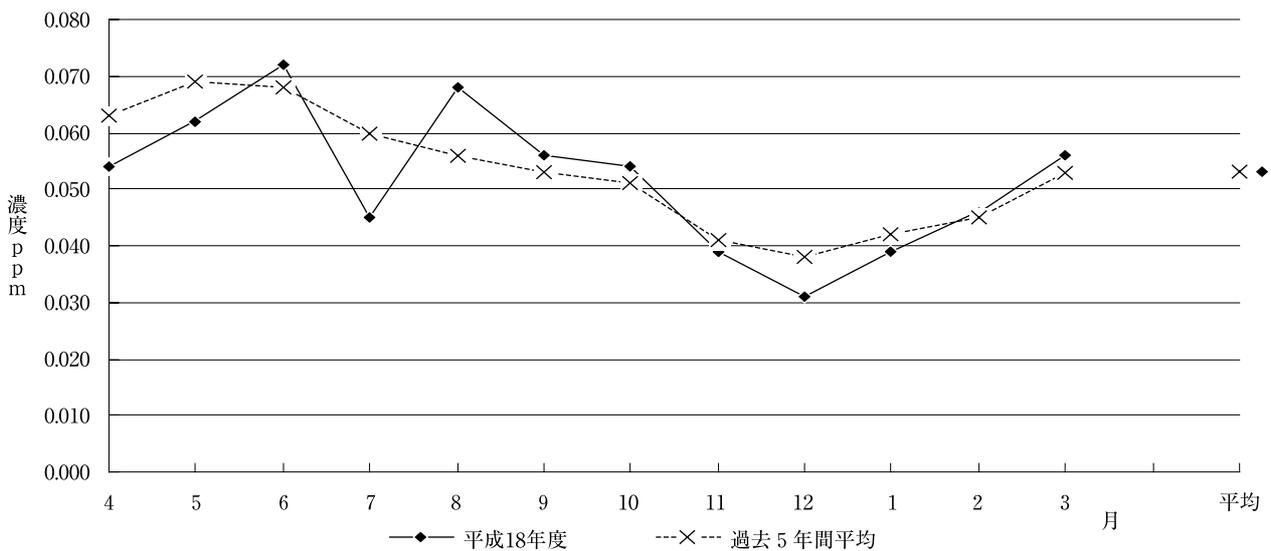


図-14 西部のオキシダント昼間の日最高値の月平均値

IV まとめ

1 本県では全局で環境基準未達成であり、平成18年度のオキシダントの環境基準を超えた日数が約半数の局で100日を超えていた。月別では環境基準を超えた日は6月が最も

多く、5月、6月と8月、9月に集中していた。

2 本県の平成18年度の高濃度オキシダント発生日数は67日であり、昨年度より16日少なく、過去10年間の平均よりも10日少なかった。

- 3 全国の平成18年度の注意報発令日数（0.12ppm以上）は177日であり、平成12年度をピークに減少傾向が見られる。本県における平成18年度の注意報発令日数は、6月に3日発令された。これは、平成7年度以降12年連続である。四国内で最も注意報の発令が多いのは徳島県で、隣県の香川県では過去10年間発令されていない。
- 4 本県における平成18年度の高濃度オキシダント発生日が多いのは5月、6月と8月～10月であり、その期間は平年より気温が高く、降水量が少なく、日照時間が長かったためであると思われる。
- 5 オキシダントが初めて高濃度となった時刻は13～15時で、高濃度であった時刻は日射量の多い時間帯に多く見られた。一方、日没後に高濃度に発生しているのは、関西方面あるいは大陸等からの移流が原因と考えられる。
- 6 高濃度オキシダント発生時の天候は晴れていて、日照時間が長く、風速は1.0～3.9m/sの弱風の日が多かった。これは、光化学反応が促進され、発生したオキシダントが滞留したためであると思われる。また、風向については北

部局は北から東を経て、南方位（中国地方、関西地方）、南部局は南方位、脇町局は東方位、そして池田局は北方位が多かった。この様に、気象条件等によって注意報レベルの濃度になる可能性があるため、今後とも注意する必要がある。

- 7 平成18年度の全地域のおキシダントの昼間の日最高値の月平均値は6月が最も高く、それ以降12月頃まで低下し、2月より上昇している。過去5年間と比較して6月、8月、9月については大幅に高くなっている。6月、8月、9月は降水量が平年比より平均約50%と少なく、日照時間が長かったためであると思われる。

文 献

- 1) 環境省水・大気環境局大気環境課：環境省報道発表資料、平成18年度光化学大気汚染の概要
- 2) 徳島地方気象台：徳島県の気象、2006年4月～2007年3月